2014 (平成 26) 年度

事業計画書

公益財団法人大和市国際化協会

2014年度事業計画書

目 次

はじめに•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
事業体系図	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2
事業計画・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	3

はじめに

(環境認識)

大和市の外国人登録者は 1990 年の入管法改正以来、一貫して増加を続けていましたが、2009 年 4 月の 6,649 名をピークに減少に転じ、2013 年 12 月の時点では 5,603 名になっています。

一方で、外国人登録者のうち、「一般永住者」という在留資格を持つ外国人は 2,800 名(2013 年 4 月時点)を数え、年々増加する傾向にあります。今では、外国人登録者の約半数は一般永住者の在留資格を持っていることになります。つまり、大和市に住む外国人の約半数は、今後もずっと大和市やその周辺(少なくとも日本国内)に住み続けるであろうことがうかがえます。

日本語が不自由であったり、災害時には要援護者に位置づけられたりする外国人は、一般的には地域の課題の一つと考えられがちではあります。しかし、大和市に住み続ける外国人の中には、日本人と同様に何らかの形で地域に貢献したいと思っている人が少なくないことを忘れてはなりません。

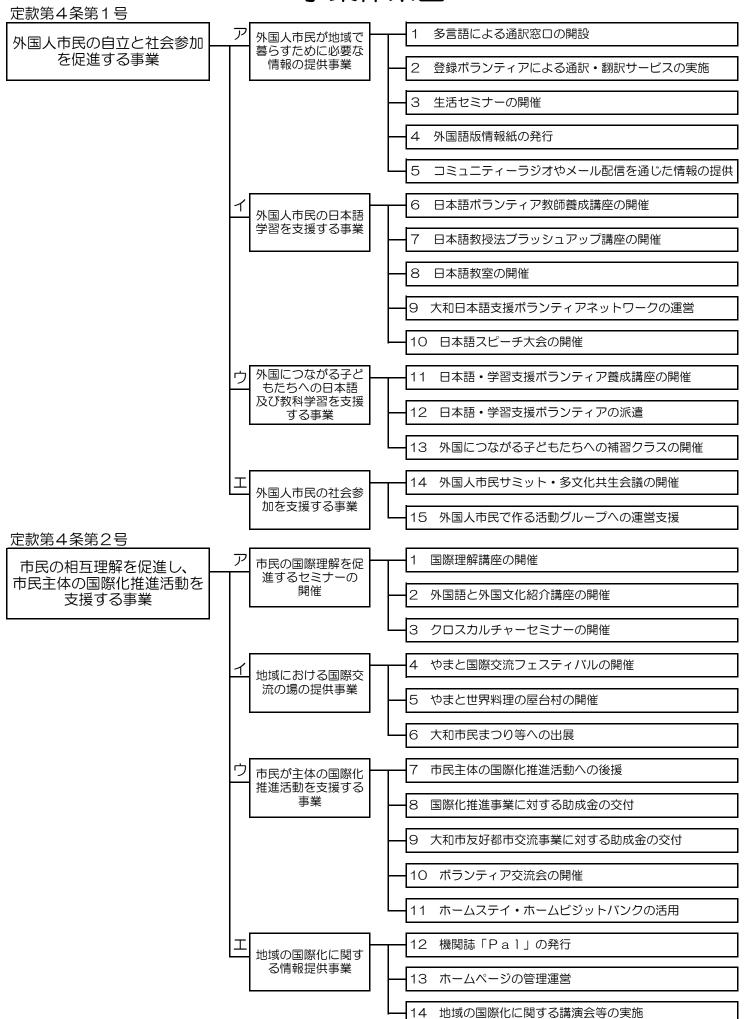
当協会ではこれまで通り外国人市民の支援や日本人市民の国際理解を進める 事業を展開すると同時に、活力ある地域社会をつくっていくために外国人市民 の力を生かすことができるよう、その環境整備に努めます。加えて、日本語が 不自由な外国人市民への情報提供の充実や災害時の対策にも取り組んでいく必 要があります。

本年は当協会が設立されて 20 周年を迎えることから、これを契機になお一層活力ある地域社会づくりや地域の国際化に貢献できるよう、各事業に取り組んでまいります。

(重点事業)

当該年度は、情報提供の充実を目指した「ホームページの多言語化」を実施するほか、協会設立 20 周年を記念して行う「地域の国際化に関する講演会」および「第3期大和市多文化共生会議」の開催を重点事業として取り組んでまいります。

事業体系図



事業計画

公益目的事業 1 外国人市民の自立と社会参加を促進する事業

外国人市民が日本社会への理解を深めるために必要な情報を提供し、外国人市民の日本語力の向上 や、自らが主体となって進める社会参加活動を支援することを通じて、地域に住む外国人市民の自 立と豊かな地域社会づくりへの参加を促進する。

ア	外国人市民が地域で暮らすために必要な情報の	提供事業			
目的	情報の届きにくい外国人市民に対して、いろいろな機会 社会の仕組みや制度についての理解を促す。また、外間 ョンを図ることができるよう支援する。				
1	多言語による通訳窓口の設置	大和市国際化推進業務受託事業			
事業概要	【目的・方法】 国際化協会及び大和市役所に通訳窓口を設置し、日本からの依頼に応じて、母国語で必要な情報を提供するミュニケーションを補助する。 【実施日】 英語 毎日 午前9時~午後5時(職員が表現のでは、大きのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	るほか、市役所や市立病院の職員とのコ が対応) 寺~5時 寺~4時			
2	登録ボランティアによる通訳・翻訳サービスの実施	大和市国際化推進業務受託事業(一部)			
事業概要	一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、				
3	生活セミナーの開催				
事業概要	【目的・方法】 外国人市民を対象に、社会の仕組みやルールなどを 社会及び日本社会への理解を図る。 【回数】 年度内に1回(予定)				

4	外国語版情報紙の発行	大和市国際化推進業務受託事業
事業概要	 【目的・方法】 多言語(4 言語)で情報紙を発行し、日本語に不自民ことで、地域社会や日本社会への理解を促す。 【種類】 「Terra(テラ)」 英語・日本語併記版 発行部数 「Tierra(ティエラ)」 スペイン語・日本語併記版 「ニイハオ」 中国語・日本語併記版 発行部数 600 点 「チャーオバーン」 ベトナム語版 発行部数 600 点 【その他】 【その他】 Terra、Tierraは、広告を掲載して財源に充てる(1/4) 	1,000 部 発行部数 1,000 部 0 部 いずれも偶数月末日発行
5	コミュニティーラジオやメール配信を通じた情報の提供	共
事業概要	【目的・方法】 インターネット(メール配信サービス)やコミュニラ 多言語で情報提供を行う。ホームページを多言語化し 充実を図る。	
1	外国人市民の日本語学習を支援する事業	
目的	日本語を学ぶ環境を整えることで、外国人市民の日本語 を営むことができるよう支援する。	語力の向上を図り、日本で自立した生活
6	日本語ボランティア教師養成講座の開催	
事業概要	2014 年度は実施しない	
7	日本語教授法ブラッシュアップ講座の開催	
事業概要	【目的・方法】 市内の日本語教室で活動するボランティアのスキルで 【回数】 年度内に3回(予定) 【参加費】 200円 【定員】 各回20名 【備考】 賛助会員優待対象事業(参加費無料)	アップを図る。

8	日本語教室(初級)の開催
事業概要	【目的・方法】 外国人市民に日本語を学ぶ場を提供する。 【講義内容】 地域の日本人市民との速やかな意思の疎通を目指す、会話力向上のための講座 【期間】
9	大和日本語支援ボランティアネットワークの運営
事業概要	【目的・方法】 日本語支援活動に携わる市内の各団体が連携できる場を提供する。 【内容】 年度内にミーティングを1回(予定)開催し情報交換を行う。 また、各団体の活動状況を調査するアンケートを行い日本語教室の実施状況を把握する。 日本語スピーチ大会の運営に携わり、審査員を務める。
10	日本語スピーチ大会の開催
事業概要	【目的・方法】 外国人市民に、日頃の学習の成果を発表する場を提供することで、日本語への学習意欲を高めるとともに、周りの市民に地域で暮らす外国人市民への理解を促す。 【定員】 発表者 10 名(予定) 来場者 180 名 【開催日】 2014 年 7 月 13 日(日) 【開催場所】 勤労福祉会館 【備考】 事業実施に当たっては、協賛金を募る。
ウ	外国につながる子どもたちへの日本語及び教科学習を支援する事業
目的	外国につながる子どもたちへ日本語及び教科学習の支援を行うことで、彼らの学習への意欲を 育み、学力の向上を図る。
11	日本語・学習支援ボランティア養成講座の開催
事業概要	【目的・方法】 外国につながる子どもたちへ日本語及び教科の学習支援ができるボランティアを養成する。 【開催日時】 2014年4月4日~7月18日 毎週金曜日 16:30~18:30 全15回 【開催場所】

	林間学習センター 【講義内容】 日本語及び教科指導方法の基礎、外国につながる児童 ケーション講義 【参加費】 無料 【定員】 30名	童生徒を理解するための異文化コミュニ			
12	日本語・学習支援ボランティアの派遣	大和市国際化推進業務受託事業(一部)			
事業概要	【目的・方法】 学校からの依頼に応じてボランティアを派遣し、外間学習の支援を行う。 【備考】 日本語・学習支援ボランティアの登録制度を設け、防多文化共生ソーシャルワーカーを配置して、カリキュ	値時登録の受け付けを行う 。			
13	外国につながる子どもたちへの補習クラスの開催	大和市国際化推進業務受託事業(一部)			
事業概要	【目的・方法】 日本語力不足の外国につながる子どもたちのための補習教室を開催する。 【実施形態】 「夏休み子ども教室」 夏休みの決められた期間(7日間)に生徒を募集し、それぞれの学力に合わせた個別指導を行う。日本語・学習支援ボランティアを活用し実施する。 「特別支援教室」 児童生徒やその保護者からの依頼に応じて個別指導を行う。日本語・学習支援ボランティアを活用し実施する。実施時期は問わない。 「にほんごひろば」(大和市国際化推進業務受託事業) 未就学児に簡単な日本語習得の機会を提供する。この事業は、大和市と AJAPE (日本ペルー共生協会) の協働事業「プレスクール」の一部として実施する。またプレスクール事業に対しては、登録ボランティアを派遣し、協力者として参加する。				
ェ	外国人市民の社会参加を支援する事業				
目的	外国人市民が社会参加できる機会を創出することで、E 決するために力を発揮できるよう支援する。	自身の抱える課題と地域社会の問題を解			
14	外国人市民サミット・多文化共生会議の開催	大和市国際化推進業務受託事業			
事業概要	【目的・方法】 外国人市民が地域の一員として、まちづくりに参加で 【開催形態】 「外国人市民サミット」 外国人市民及び大和市において在住外国人支援活動の懇談の場を設ける。 「第3期大和市多文化共生会議」(2012 年度からの紹外国人委員6名及び日本人委員5名、ファシリテールドワークや地域で行う防災訓練を実施しながあっなネットワークの形成に取り組む。	動に取り組む日本人市民を招き、市長と 迷続事業) -ター1名により構成されており、フィ			

2014年度事業計画

15	外国人市民で作る活動グループへの運営支援
事業概要	【目的・方法】 外国人市民が自身の抱える課題を解決するために、自らが主体となって行う活動に対し支援 を行う。窓口において職員が受けた相談に応じて、専門機関につなぐ、活動に協力するなど の支援を行う。 【備考】 持ち寄り交流会を開催し、外国人市民がお互いに知り合える機会をつくる。

事業計画

公益目的事業 2 市民の相互理解を促進し、市民主体の国際化推進活動を支援する事業

市民が多様な文化に触れることのできる機会を提供し、市民自らが主体となって進める国際理解、国際交流、在住外国人支援活動を応援することを通じて、市民がそれぞれの違いを認め合い、尊重し合える地域環境づくりを進める。

ア	市民の国際理解を促進するセミナーの開催
目的	多様な文化を知る機会を提供することで市民の国際理解を促す。
1	国際理解講座の開催
事業概要	【目的・方法】 世界各国の情勢、歴史、生活様式、文化などを紹介する講座を開講し、市民の国際理解を促す。 【内容】 ジャーナリストや識者による講義 【回数】 年度内に2回(予定) 【参加費】 300円 【備考】 賛助会員優待対象事業(参加費無料)
2	外国語と外国文化紹介講座の開催
事業概要	【目的・方法】 外国人市民を講師に招き、簡単な会話が学べる入門、初級レベルの外国語講座を開催する。また、言葉だけではなく、その国の文化を紹介することで外国文化への興味を広げる。 【回数】 年度内に異なる言語で 2 講座(各講座全 15 回)を予定。 【定員】 各講座 15 名 【参加費】 12,000 円(テキスト代別) 【備考】 賛助会員優待対象事業(参加費より 500 円割引)
3	クロスカルチャーセミナーの開催
事業概要	【目的・方法】 外国人市民講師による母国の文化や人々の暮らしなどについての講義を通じて、外国への興味を促す。 【形態】 「クロスカルチャーセミナーの開催」 外国人市民を講師に招き母国の食文化や生活習慣などを紹介する。 「クロスカルチャーセミナーボランティアの派遣」 依頼者(小中学校、社会奉仕団体ほか)の希望に応じてボランティア講師を派遣する。 【負担金】 講師の在住市と活動場所が同一の場合 1,500円以上又は2,500円以上(1時間)

	講師の在住市と活動場所が異なる場合 【備考】	2,000 円又は 3,000 円以上(1 時間)		
	クロスカルチャーセミナーボランティア登録	制度を設け、外国人市民の協力により実施する。		
1	地域における国際交流の場の提供事業			
目的	だれもが気軽に多様な文化に触れることのでき 促進するとともに、地域の活性化を図る。	・るイベントを開催することで、市民間の交流を		
4	やまと国際交流フェスティバルの開催や	まと国際交流フェスティバル実行委員会と共催		
事業概要	2014 年度は実	!施しない		
5	やまと世界料理の屋台村の開催 大利	和市国際化推進業務受託事業		
事業概要	【目的・方法】 「食」を通して、市民に気軽に外国文化に親しむ機会を提供することで、市民間の交流の場を設ける。 出店者は広報やまと及び機関誌、HPなどで公募し、外国料理店のほか、Y-1 グランプリ(大和市民まつり)出店者からの応募も受け付けることで、地域の活性化につなげる。ステージを設置し、外国の音楽や踊りなどを披露するほか、友好都市の紹介や地域の国際化の状況なども広くPRする機会とする。 【開催日】 2014年10月26日(日)予定 【開催場所】 大和駅東側プロムナード			
6	大和市民まつり等への出展			
事業概要	【目的・方法】 市内で開催されるイベントに出展し、協会事 【イベント名】 大和市民まつり その他	業の PR を行う。		
ゥ	市民が主体の国際化推進活動を支援する	事業		
目的	市民が主体の国際化推進活動を支援することでとができるよう地域の環境を整える。	、だれもが継続して国際化推進活動に携わるこ		
7	市民主体の国際化推進活動への後援			
事業概要	【目的・方法】 非営利目的で行われる、市民が主体の国際化 活動に関する相談に応じ、助言を行う。 【申請】 協会既定の申請書を使用し実施する。	推進活動に対して、後援名義を付与するほか、		

8	国際化推進事業に対する助成金の交付				
事業概要	【目的・方法】 市民が主体の国際化推進活動団体に対し、助成金を 【関係規程】 公益財団法人大和市国際化協会国際化推進事業助成				
9	大和市友好都市交流事業に対する助成金の交付				
事業概要	【目的・方法】 市民が主体となって、大和市の友好都市である大韓民国光明市との交流を行う団体に対し助成金を交付することで友好都市の活性化を進める。 【関係規程】 公益財団法人大和市国際化協会友好都市交流事業助成金交付規程				
10	ボランティア交流会の開催				
事業概要	【目的・方法】 交流会を開催することで、非営利目的で活動する団換の場を提供する。 またボランティアをしたいと考える市民へ広く参加【回数】 年度内に1回(予定)				
11	ホームステイ・ホームビジットバンクの活用	大和市国際化推進業務受託事業			
事業概要	【目的・内容】 大和市の友好都市である韓国光明市をはじめとする け入れを希望する家庭の登録を受け付け、ホームス を行うことで、相互理解を促進する。				
ェ	地域の国際化に関する情報提供事業				
目的	│ │広く地域の国際化に関する情報を発信することで、意 │	試識の普及・啓発を進める。			
12	機関誌「Pal」の発行				
事業概要	【目的・方法】 協会の事業案内や、事業報告、国際化に関する情報を発信する機関誌を発行し、広く市民に配布することで、意識の普及啓発を図る。12 月号は協会設立 20 周年記念号とし、記念誌に代える。 【仕様】 季刊(6月、9月、12月、3月末日発行) 発行部数 2,500 部カラー4ページ 2色4ページ 計8ページ(記念号はカラー16ページ) 【備考】 広告を掲載して財源に充てる。(1/6ページ 1 枠年間 40,000 円×2社 28,000 円×1社記念号のみ 10,000 円×7社) 賛助会員優待対象事業(個別送付)				
13	ホームページの管理運営				
事業概要	【目的・方法】 インターネットを活用し、法人概要、事業案内や事 情報を提供し、地域の国際化にまつわる情報の発信				

2014年度事業計画

14	20 周年記念講演会等の実施
事業概要	【目的・方法】 地域の国際化に関する講演会を実施し、市民とともに地域の国際化について考える機会を設ける。 【開催日】 2014年9月28日(日) 【開催場所】 保健福祉センターホール